別紙１

令和８年度　　中央小学校　学校評価書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】　心身ともに健康で，気力にあふれ，夢に向かって創造力とたくましい実践力を発揮し，新しい時代を拓く知性豊かな児童を育成する。

【目指す児童像 】　つよく　たくましい　ザウルスキッズ

○ 自ら考え 進んで学ぶ子　【 考える 】
○ 健康で 粘り強くやり遂げる子　【 やりぬく 】
○ 心豊かで 思いやりのある子　【 助け合う 】

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

○児童にとってわくわくしながら登校し満足して下校できる学校　【わくわくする学校】
○保護者にとって安心して子供を通わせられる学校　【安心できる学校】
○地域にとって信頼できる地域とともにある学校　【信頼できる学校】
○教職員にとって自分の力を十分に発揮できるやりがいのある学校　【やりがいのある学校】

３　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（１） 個別最適な学びと協働的な学びのある授業や教科担任制の実施等により，学習意欲の向上及び基礎学力の定着を図るとともに，委員会・クラブ活動，学校行事等において児童が主体的に取り組む場を意図的に設けながら，生涯にわたって主体的に学び続ける「自ら考え進んで学ぶ子」を育成する。

（２） 体力の向上や規則正しい生活習慣，望ましい食生活，自ら危険を予測して回避できる力を高める教育活動を通して，健やかでたくましく，目標に向かって粘り強く挑戦し続ける「健康で粘り強くやり遂げる子」を育成する。

（３） 道徳科や特別活動等を中心に，友達や異学年児童，地域の方々等との様々な関わりの中で，児童一人一人のよさを生かし伸ばすとともに，互いに認め合い，助け合い，励まし合える豊かな人間関係を築くことができる「心豊かで思いやりのある子」を育成する。

（４） 児童指導上の諸課題の解決に向け，家庭や関係機関との迅速な連携協力と組織的対応を徹底する。

（５） 「地域とともにある学校」として，伝統ある校風を基盤に，地域協議会や企業等との連携を図り，児童の実態や地域の特色等を踏まえた体験的な活動を効果的に取り入れる。

（６） 「働きやすさ」と「働きがい」のバランスを考慮した職場環境や業務内容の改善を推進し，教職員一人一人が，心身ともに健康で，職責に対する自覚と強い使命感，自身のキャリアプランをもち，自らのよさや専門性を生かしながら，メリハリのある勤務ができるようにする。

＜目標＞１ 教員の時間外在校等時間を月４５時間以内，年３６０時間以内とする。（令和１４年度末）
２ 児童と向き合う時間を確保できている教員の割合９０％を目指す。（令和１４年度末）
３ 時間外在校等時間が月８０時間を超える教職員の人数０人を目指す。（令和　９年度末）

○（７）「小中一貫教育・地域学校園」を有効に活用し，小中連携の充実に努める。
「旭地域学校園教育ビジョン」地域に愛される旭っ子の育成～地域との豊かなかかわりを通して～

４　教育課程編成の方針

（１） 教育基本法をはじめとする関係法令，小学校学習指導要領，県教育委員会の指導指針，第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画，学校経営の方針や学校の実態等を踏まえながら，知・徳・体のバランスのとれた社会に開かれた教育課程を編成する。

（２） 本校の強みを生かした特色ある教育活動を展開し，豊かな人間性と基礎・基本となる力を身に付けさせるとともに，児童一人一人の個性を生かしながら「生きる力」を育む教育課程を編成する。

（３） 教科等横断的な学習や探究的な学習，学年間の系統性，地域の教育資源の効果的な活用など広がりをもった教育活動が実践できるよう教育課程を編成する。

（４）地域学校園内の各学校と連携を図り，小中一貫教育の趣旨を踏まえた教育課程を編成する。

【令和８年度重点取組】

ア　教科担任制やブロック担任制の試行等により，より複数の教員が児童と関わる機会を増やし，学年及び学校行事，縦割り班活動等において児童一人一人のよさや特性を生かすよう努めることを通して自己有用感を高めていく。

イ　朝の学習の時間や習熟度別学習を中心に，これまでの取組の成果や課題を踏まえ工夫改善を図り，学習の基礎・基本となる力のさらなる定着・向上につなげる。

ウ　地域の特色を生かした体験的な活動や校外学習，遠足や修学旅行，冒険活動教室等の行事を各教科の学習と関連付けながら，教科横断的な学習を推進する。

5　今年度の重点目標（短期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○ 印を付ける。

（１）学校運営

○ 家庭や地域等との確かな連携協力と，個別最適な学びと協働的な学びのある授業により，児童一人一人が生き生きと学び活動できる「わくわくする学校」，お互いを思いやり助け合い励まし合いながら，安全で楽しく生活できる「安心できる学校」，地域のよさを生かした様々な教育活動の中で，多くの人やものに直に出会い直に触れ合い直に関わることを通して，学校と地域が互いに「信頼できる学校」，教職員一人一人が豊かな人間性を基盤に自己研鑽に努め，着実に指導力を高めながら計画的かつ効果的な教育活動を展開できる「やりがいのある学校」づくりを推進し，学校教育目標の具現化を目指す。

（２）学習指導

○学び合いを通して，自らの考えを広め深める児童の育成

（３）児童生徒指導

○基本的生活習慣を身に付け，思いやりのある児童の育成　～ あいさつ・言葉遣い・時間を守る ～

（４）健康（保健安全・食育）・体力

○自ら判断し，健康で安全な生活を送ることができる児童の育成

6　自己評価

A1～A20は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１） **確かな学力を育む教育の推進**	Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童は，学習課題を解決するために，友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，粘り強く学習に取り組んでいる。」** ⇒児童・教職員の 肯定的回答８５％以上 ⇒保護者の 肯定的回答８０％以上	①　授業の中で，児童が「知りたい」「解決したい」と思えるような課題の設定や提示の仕方を工夫して，知的好奇心を喚起することで，「できた」「わかった」という達成感を味わわせ，児童の学びに対する主体性を高めます。 ②　落ち着いて話を聞くことができる児童を育てるため，学年に応じた「聞き方」の指導に努めます。 ③　自信をもって自分の考えを伝えたり，友達の前で発表したりできるように，授業の中で，ペアやグループ，全体活動など学習形態を工夫します。		
１－（２） **豊かな心を育む教育の推進**	Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」** ⇒児童・教職員の 肯定的回答９０％以上， ⇒保護者・地域の 肯定的回答９０％以上	①　縦割り班活動など，異学年の交流活動の充実を図り，高学年児童が自信をもってリーダーシップをとり，望ましい人間関係を構築できるよう支援します。 ②　児童が互いに認め合い，自己肯定感を高められるよう，「特別の教科 道徳」の充実を図り，学校生活の様々な場面で認め，励ますなどの声掛けに努めます。		

	Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」** ⇒児童・教職員の 肯定的回答８５％以上， ⇒保護者の 肯定的回答８０％以上	①　様々な挑戦の機会を生かし，最後までやり遂げられるよう支援したり，称賛や承認の場面を設定したりすることで達成感や成就感を味わわせるようにします。活動後には積極的に家庭へ伝え，共通理解を図ることで，児童の意欲を高めます。 ②　各種検定やマイプラン，キャリアパスポートを活用し，目標に向かって実践できるよう支援に努めます。 ③　学級や個人の目標を意識させ，一人一人が目標達成に向け実践継続できるよう支援に努めます。		
１－（３） 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「**児童は，健康や安全に気を付けて生活している。**」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答９０％以上 ⇒保護者・地域の 肯定的回答８５％以上	①　様々な危険を想定した避難訓練を実施することを通して，「生活安全」・「交通安全」・「災害安全」に関する教育の充実に努めます。 ②　遊具の使い方や校庭での遊び方，校内での過ごし方等の決まりを各学級で指導し，児童の危険回避に対する意識を高めていきます。 ③　健康な体作りができるように，運動・食事・睡眠・手洗い・うがい・消毒などの健康的な生活習慣や病気・けがの予防法について指導していきます。		
１－（４） 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケートの「**児童は，互いの良さを生かしながら，進んで意見を発表したり協力したりして，集団での課題を解決している。**」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答８０％以上	①　よりよい生活が送れるよう，学級で課題解決に向けて話合いを行い，係活動や当番活動などで進んで意見を発表したり，協力したりできるよう指導していきます。 ②　学校生活がよりよくなるよう，委員会活動などで，互いの意見を聞き合いながら協力できるよう指導していきます。		

２－（１） グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童は，外国語活動(英語）の授業や ALT との交流の際に，英語を使ってコミュニケーションしている。」** ⇒児童・教職員の 肯定的回答９０％以上	①　児童生徒が，英語を使って自分の気持ちや考えなどを適切に伝えることができるよう，教員が自ら積極的に英語を使うとともに，ＡＬＴを活用した，英語によるやりとりを中心とした授業を推進します。 ②　英語のネイティブスピーカーであるＡＬＴを，授業はもとより休み時間や清掃時，行事などあらゆる時間において活用し，児童が生きた英語に触れる機会の充実を図ります。		
	Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童は，宇都宮の良さを知っている。」** ⇒児童・教職員・保護者 の肯定的回答８０％以上	①　児童が，「宇都宮学」で学んだ歴史や伝統文化，産業などについて知り，地域学習や校外学習等をとおして，郷土への愛情と誇りをもてるような学習を推進します。 ②　「宇都宮学」で学習した内容を，授業参観・懇談会・オープンスクールや，学校だより・学年だより等で児童や保護者に周知することに努めます。		
２－（２） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童（生徒）は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。」** ⇒児童・教職員の肯定的回答９０％以上， ⇒保護者８０％以上	①　これからの社会に求められる情報活用能力を育成するために「情報モラル」や「デジタルシティズンシップ教育」等の充実を図ります。 ②　児童がパソコンなどに親しみ，適切に活用する能力を育成するために，発達段階に合わせて，デジタル機器の活用を図るとともに，たより等で児童や保護者に周知することに努めます。 ③　学習における図鑑などの書籍や新聞等の活用を推進し，図書室の学習センター・情報センターとしての機能を充実させます。		
２－（３） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　児童は，「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童は，「持続可能な社会」について，関心をもっている。」** ⇒児童・教職員の 肯定的回答８５％以上	①　国語・社会・理科・家庭科・総合的な学習の時間・道徳科等において，環境問題やエネルギー問題，防災等の「持続可能な社会」を見据えた授業の充実を図ります。 ②　図書委員会や，給食委員会 SDGｓに関するイベント等を実施することで児童への意欲付けを図ります。		

3－（1） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「**教職員は，特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて，適切な支援をしている。**」 ⇒教職員の 肯定的回答９０％以上	①　日常の観察や相談活動のほか教育相談週間や Q-U 検査など，多くの視点から児童理解に努めます。 ②　通常の学級で特別な支援を必要とする児童の様々な教育的ニーズに対応するため，かがやきルームや特別支援学級，通級指導教室の効果的活用を図るとともに，少人数指導や TT など個に応じた指導・支援に努めます。 (定期的・臨時的な教育支援委員会設置)		
3－（2） いじめ・不登校対策の充実	A11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「**学校は，いじめ対策に熱心に取り組んでいる。**」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答９０％以上， ⇒保護者・地域の 肯定的回答８０％以上	①　児童についての日常の情報交換や観察，教育相談，アンケート調査等を通して，児童の実態把握，いじめの早期発見・早期解決に努めるとともに，ネットコミュニケーションのマナーやルールの大切さと危険性について，懇談会等の機会を利用して児童・保護者への啓発をします。 ②　教科や道徳，学級活動の時間に，「いじめ」は絶対に許されないということを，継続指導していきます。 ③　「いじめゼロ強調月間」を設定し，児童会でポスター作成や集会を行ったり，児童が作った標語を教室に掲示したりして，意識付けを図り，取り組みの様子を学校 HP や各種たより等を利用して，家庭に周知します。		
	A12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「**教職員は，不登校を生まないよう，一人一人の児童を大切にし，児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。**」 ⇒児童・教職員・保護者 の肯定的回答８５％以上	①　教職員が教育相談や日々の学校生活内での児童との対話を心がけ，児童の些細な変化を見逃さないように学校全体で取り組みます。 ②　帰りの会等を利用して児童のがんばりを学級内で共有したり，励まし合ったりすることで温かい雰囲気の学級を作ることができるようにします。 ③　一人一台端末を活用し，不登校傾向にある児童と教員をつなぐ機会をもつことで学校の様子を知らせ，心の安定を図ります。		

3－（3） **外国人児童生徒等への適応支援の充実** 3－（4） 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの**「教職員は，児童の悩みに寄り添い，相談に乗ったり，問題の解決に努めたりして，児童が明るくいきいきと学校生活を送れるようにしている。」** ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 ９０％以上	①　児童一人一人の話をよく聞き，声を掛け，よいところを認めて伸ばす指導に努めます。 ②　児童会活動や縦割り班活動の充実，学級活動の充実を通して，児童が主体的に活動する場を多く設定することで，楽しく活気あふれ，児童にとって「居がい」のある学級・学校を目指します。		
4－（1） 教職員の資質・能力の向上	A14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの**「教職員は，分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」** ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答８５％以上	①　授業のねらいを明確にし，達成させるための手だてを工夫し，児童が主体的に学びに取り組めるように，指導・支援方法の改善に努めます。 ②　確かな学力を育成するため，少人数指導，習熟度別学習，Ｔ・Ｔ，かがやきルームでの指導など，個に応じた指導の更なる充実に努めます。 ③　一人一授業や要請訪問の様子をHP に掲載し，保護者に周知することに努めます。		
4－（2） **チーム力の向上**	A15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの**「学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」** ⇒教職員の 肯定的回答８５％以上	①　様々な職員の専門性を生かし，効果的・効率的に授業や業務が行われるよう連携します。 ②　学校行事や校内研修ばかりでなく，日頃から全教職員が一丸となって，児童指導を充実させます。 ・児童についての情報共有 ・質の高い指導法の学び合い		
4－（3） **学校における働き方改革の推進**	A16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの**「私は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」** ⇒教職員の 肯定的回答８５％以上	①　業務の進め方を見直したり，業務内容を精選したりすることで，放課後の時間を確保し，教材研究や児童指導の充実に努めます。 ②　多様な専門性を有する学校スタッフが共同して教材を作成したり，既存資料を利活用したりすることで，児童の実態に合わせた指導の充実に努めます。 ③　電話・来校者対応は勤務時間内とします。		

４－（３） 学校における働き方改革の推進	Ａ17　児童と向き合う時間を確保できている。 **【数値指標】** 全体アンケートの**「私は，児童生徒と向き合う時間を確保できている。** ⇒教職員の 肯定回答率８５％以上	①　ICT を活用した情報共有を進めることで，全体の打ち合わせを週１回にします。 ②　教員業務支援を活用することで，児童と接する時間や教材研究，行事の準備等の時間を確保します。		
５－（１） 全市的な学校運営・教育活動の充実	Ａ18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの**「学校は，児童生徒や教職員の交流，小中一貫カリキュラムの作成・見直しなど，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」** ⇒教職員・５・６年児童の肯定的回答８５％以上 ⇒保護者・地域の肯定的回答８０％以上	①　乗り入れ授業，あいさつ運動，宮っ子チャレンジへの協力など，中学校と連携した教育活動の推進を目指します。 ②　９年間を見通した年間指導計画の実践や授業力向上のための小中一貫研修等により，学力向上の推進を図ります。 ③　小中一貫教育に関する取組内容を，積極的に学校だよりや学年だより懇談会資料等で周知することに努めます。		
５－（２） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 ５－（３） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	Ａ19　学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの**「学校は，家庭，地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。」** ⇒教職員・児童・保護者・地域の肯定的回答 ８５％以上	①　学校支援ボランティアやコミュニティセンター，オリオン通り商店会，企業などと連携し，学校と保護者，地域等が一体となった教育活動を推進し，児童が多くの人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させます。 ②　ＰＴＡ運営委員会や地域協議会で学校の取組を説明し，学校の現状や課題について理解していただき，今後の学校運営が向上していくよう，地域・保護者と連携・協力して学校教育活動の充実に努めます。		
６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケートの**「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」** ⇒教職員・保護者・地域の肯定的回答８５％以上	①　定期的な安全点検を実施し，迅速な修繕・補修による適切な学習環境の整備に努めます。 ②　保護者や学校支援ボランティアと連携を図り，壁面や廊下等を活用して児童の作品を掲示するなど，学習や活動の意欲を高める温かな環境づくりを推進します。 ③　校内施設の担当者や使用者は，普段から物品管理，整理整頓を行い，安全で安心できる環境づくりに努めます。		

６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケートの「**私は，授業（授業準備も含む）や業務の改善に，デジタルを積極的に活用している。**」 ⇒教職員の肯定的回答 ８５％以上	①　校内研修会をとおして，指導力の向上や活用についての共通理解を図ります。 ②　学校ホームページやさくら連絡網を有効活用し，学校情報の提供をデジタル化し，業務改善を目指します。		
小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「**児童は，時と場に応じたあいさつをしている。**」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答９０％以上， ⇒保護者・地域の 肯定的回答８０％以上	①　教職員が率先して明るいあいさつの実践，声掛けに努めます。 ②　小中あいさつ運動や児童会のあいさつ運動を実施し，学校内・外でのあいさつの習慣化を図ります。 ③　道徳，学級活動，日々の指導を通して，あいさつの種類や時と場に応じたあいさつについて指導していきます。		
	Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「**児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。**」 ⇒児童・教職員の 肯定的回答８０％以上， ⇒保護者・地域の 肯定的回答８５％以上	①　あいさつ・時間を守る・整理整頓に焦点を当てた指導を行い，基本的生活習慣を身に付けることができるよう指導します。 ②　安全な登下校のきまりやマナーについて，それぞれの担当場所の問題点を学校全体で情報共有し，一斉下校時に児童への指導に当たります。 ③　月ごとの行事や気候に合わせた生活目標を設定し，帰りの会等で児童自身が振り返りを行い，望ましい生活習慣の定着を図ります。		
	Ｂ３　家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「**児童は，家庭学習や自主学習に進んで取り組んでいる**」 ⇒児童・保護者の肯定的回答８０％以上 ⇒教職員の肯定的回答 ９０％以上	①　「家庭学習マイプラン」により家庭と連携しながら，宿題の内容を工夫したり，宿題の量を調整したりして，家庭学習の習慣化を目指します。 ②　学年の発達段階に合わせた自主学習の内容・量について指導し，継続して取り組めるようにするとともに，手本となる児童のノートを称賛し，全児童に発信するなど，児童の意欲喚起に努めます。		

	Ｂ４　児童は，読書習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの**「児童は，読書活動に進んで取り組んでいる」** ⇒児童・教職員の 肯定的回答８０％以上 ⇒保護者の 肯定的回答７０％以上	①　朝の読書の時間や，学校支援ボランティアによる読み聞かせ，土日の「家読」の奨励等，本に親しむ機会を設定することで，児童の読書に対する興味関心を高めます。 ②　チャレンジブックの実施，読書週間でのイベント等を通して，豊かな感性を育む読書活動の推進に努めます。		
	Ｂ５ 「自分・友だち・中央地区」みんな大好き夢いっぱい事業を掲げ，「学び」・「やさしさ」・「生きる力」の育成を図る。 【数値指標】 全体アンケートの**「『考える』『やりぬく』『たすけあう』ザウルスキッズとして縦割り班活動や地域の行事などに一生懸命取り組んでいる。」** ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 ８５％以上	①　本校のマスコットである「ザウルス」を活用し，「考える」「やりぬく」「たすけあう」のあいことばを意識させた各種活動の充実に努めます。 ・縦割り共遊（ザウルスタイム） ・ザウルスランキング ・縦割り班清掃 ・教材園活動 ②　様々な人との関わりの中で，地域の一員としての自覚を高められるよう，体験活動や地域行事への参加など可能な限りできる活動の展開に努めます。また，保護者・地域へ活動の様子を周知するよう努めます。 ・宮っ子「夢」教室 ・まちなか花壇 ・６年クリーン活動（地域）		

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。